



山野内真人佐伯市議 3月議会報告

(佐伯市議会一般質問・3月1日)

●旧南郡地域に光を当て、活性化を!

【質問】佐伯の活性化には、旧南郡地域、今の振興局地域を、何としても元気にする必要がある。まず、上浦は、花とマグロも頑張ってもらいたい、何といっても豊後二見が核である。豊後二見を中心として頑張ってもらいたい。

【答弁】豊後二見は、遊歩道もできた。今後も、発展的な取り組みをしていきたい。

【質問】米水津地域は、レモンやシラスなどもあるが、何といっても、日本有数の干し物の産地である。干し物で頑張ってもらいたい。

【答弁】米水津には、養殖ブリやミカンなど、多くの産物がある。干し物一本とはいかないが、干し物は代表的な特産品である。これを前面に打ち出しながら取り組みを進めたい。

【質問】鶴見地域は、鶴見市場に揚がる魚種の多さを重点にブランド化を図っているというが、水産課等と連携はできているか。また、鶴見半島に残るシシ垣を本格的・総合的に整備し、「九州の万里の長城」等と銘打って、貴重な民族文化遺産として、また観光資源として積極的に活用すべきでないか。

【答弁】水産課との連携はできている。シシ垣は貴重であり、市の指定文化財をめざすなど、後世に伝える取り組みを継続したい。

●興人送水管問題について

(1)福岡高裁判決の確定を受けての佐伯市の地元地権者に対する責任について

(2)同判決の確定を受けての佐伯市の会社に対する責任について

以上の質問をしました



春野慶司豊後大野市議 3月議会報告

(豊後大野市議会一般質問・3月5日)



●「防災道の駅」への認可の推進について

【質問】元旦早々の能登半島地震で、国民の防災に対する関心は高まっている。全国には39カ所の防災道の駅があり、県内では湯布院のみとなっている。市内では「道の駅みえ」が駐車場の広さや、高台に位置していることなどから、要件に適合しているように思われる。いざというときの市民の安心にもつながる防災道の駅への許可を推進してはいかがか。

【総務企画統括理事答弁】令和8年度から国土交通省が取り組む道の駅の機能強化に係る第4ステージの内容と国・県の動向を注視するとともに、道路管理者や指定管理者と情報共有を図りながら、防災拠点としての道の駅の機能強化について検討していく。

●火葬場の残骨灰について

【質問】火葬場の残骨灰の売渡しにかかる一般競争入札導入への道筋について、市民へのアンケートも実施済みで、あとは入札時期についての検討段階か。

【環境衛生課答弁】アンケートの分析結果を踏まえた上で、県内他市の状況にも注視しながら、本市にとってより最適な方法を選択できるよう努めていく。

●豊後大野市(指定者)の道の駅の指定管理者への関与について

●家族の死亡に伴う各種届出のワンストップサービスについて

以上の質問をしました